

留学生のキャリア教育としての「日本組織なじみ塾」

松 浦 ま ち 子

1. はじめに

名古屋大学留学生相談室^(注)では、日本企業に就職を希望する留学生に対して、さまざまな就職支援を行っている。求人情報の提供や個別の会社説明会の学内開催、また「就職活動支援コース」の実施、そして、2010年度には新たに「日本組織なじみ塾」を企画・実施した。

留学生の就職支援の必要性から、2007年度に試行的に就職ガイダンスを開催したが、2008年度からは「就職活動支援コース」を開講している。就職活動に戸惑っている留学生を対象として、「就活」に必要なとされる「自己分析」「企業研究」さらには「応募書類準備」や「面接・マナー」が学べる講座である。2010年度は、3年目にあたり、12月で全体的な講座を終え、1月、2月、3月は個別カウンセリングを行った。

2. 「日本組織なじみ塾」の必要性

「就職活動支援コース」に参加する留学生をみていて、留学生に対しては、教室で学ぶだけでなく、より早い段階で日本企業の組織文化を実践的に学ばせ、体験することの必要性を感じた。日本人学生であれば、親や周囲の働く人々を見ながら育つ過程で無意識のうちに身につけていると考えられるが、異なる文化背景を持つ留学生には、体験させながら教えることが意味を持ってくる。そのため、就職活動時期以前のキャリア教育として、「就職活動支援コース」講師陣により「日本組織なじみ塾」が企画・提案された。この企画は、名古屋大学留学生相談室が主体となって中島記念国際財団留学生地域交流事業の助成金に申請し、採択されて実現に至った。

3. 「日本組織なじみ塾」とは？

「日本組織なじみ塾」は、「アルバイトを通じて日本企業の仕事の仕方を学ぼう…」というものである。アルバイトという組織活動を通じて、チームワーク力、問題発見力、問題解決力、さらにコミュニケーション力を鍛えることを目的としている。留学生の多くが生活のためにアルバイトをしているが、単なる生活手段として漫然と「作業する」のではなく、そこに一つの違う視点を入れ実践することで、「仕事する」ことについて多くを学び成長につながった。企業が留学生を雇用する際に一番心配なのは、「職場に馴染んでくれるだろうか？」だと聞く。その意味で、事前にアルバイ

愛知県内の外国人留学生対象

『日本組織なじみ塾』参加者募集

★アルバイトを通して日本企業の仕事のしかたを学ぼう！★

日本の企業では自ら問題を見つけて解決していく社員が評価されます。指示されたことをやる社員ではなく、自ら考え行動し解決していく自律性のある社員こそがいきいきと活躍できるのです。『日本組織なじみ塾』では、アルバイト先での仕事を通じて社会人の仕事のしかたを身につけ、就活時のアピール力を高め、自信を持って面接に臨む能力を身につけることができます。

■募集対象と定員：
愛知県内大学に在学し、日本企業に就職したい外国人留学生。
現在、学部1年生、2年生、3年生、または大学院M1の学生（定員20名）

■『日本組織なじみ塾』とは？
『日本組織なじみ塾』は外国人留学生向けの実践型就職活動研修プログラムです。外国人留学生の就職能力向上を目的とし、【アルバイト先での改善活動】と【集合研修】を通じて日本の組織行動の実践的学習ができます。鍛える能力としては、コミュニケーション力、組織行動力、チームワーク力、問題発見力、問題解決力です。

『日本組織なじみ塾』の活動の流れ

集合研修 → OJT（アルバイト） → 就職活動

留学生にとっては：

- 1.働きたから学ぶ
- 2.企業の学習
- 3.就職能力向上
- 4.実績を作る
- 5.自信を持つ
- 6.参加無料
- 7.内定まで完全フォロー

■スケジュール

① 応募締め切り	2010年6月10日（木）
② 選考実施	2010年6月19日（土）10:00～15:00
③ キックオフ会	2010年7月3日（土）～4日（日）（一泊二日集合研修）
④ OJT・研修・個別指導	2010年7月～2010年12月（期間：6か月）

★OJT：アルバイト先での改善活動
★集合研修：月に1回（土曜日開催、2時間半/回、名古屋大学の教室使用）
★個別指導：コーディネーターによる留学生及びアルバイト先への個別指導

⑤ 成果発表会 2011年1月中旬（予定）
⑥ その他 ★研修はすべて日本語で行われます。（日本語能力を必要とします。）
★上記期間中アルバイト代は、通常通りアルバイト先より支払われます。
★アルバイト先：ファミリーレストラン、コンビニ、飲食店などのサービス業、他

■応募方法：以下の内容を明記し、応募先までメールで申し込んでください。
① 氏名 _____ ② 所属大学・学年・学科 _____
③ 日本語学習歴 _____ 年、日本語能力資格 _____ （あればご記入ください）
④ アルバイト・現在のアルバイト先は _____ 業（例：コンビニ）毎週 _____ 回、毎日 _____ 時間

■応募先（問合せ先）：名古屋大学留学生相談室 matsura@ecis.nagoya-u.ac.jp

主催：名古屋大学留学生相談室

★この事業は中島記念国際財団留学生地域交流事業の助成金により実施します★

(注) 名古屋大学留学生相談室は、留学生センター教育交流部門と統合し、2011年4月1日留学生センターアドバイジング・カウンセリング部門として改組した。

ト先という日本の組織の中で「仕事する」ことを学ぶ
なじみ塾生は、その不安を与えないだろう。

4. 留学生によるアルバイト先の改善活動と成果

助成金趣旨に沿って、県内大学の留学生を対象に参加者を募集し、4大学18名が、なじみ塾第1期生となった。2010年7月初め、参加留学生相互の連帯感を育てることを目的として、一泊二日のキックオフ合宿を岐阜県郡上市で行い、その後は、大学の教室で毎月1回の合同研修を重ねた。合宿では、自炊時の火起こしや料理のマニュアル化、宿泊先の「山の家」の改善計画等、身近な話題を取り上げながら「仕事の仕方」を学んだ。また、合同研修では、職場で必要とされる「5S」に関して、自らの5Sを実行しながら、他の学生の改善活動を聴き意見交換を行った。その間も、アルバイト先の理解と協力をいただきながら、学生はアルバイト先での改善活動に取り組んできた。

それぞれの学生が自分の職場で考え、悩み、作り上げた成果を1月19日（水）成果発表会として、企業人事担当者、他大学の就職担当者、行政関係者、留学生等約50人を前に改善活動の紹介を行った。

5名なじみ塾生の発表は、いずれも興味深いものであり、「教育」の効果がよく表れていた。発表テーマは、「スーパーにおける商品廃棄の削減」「仕事の与え方によるやる気の違い」「中華料理店の一人当たりの売上金額アップ」「コンビニにおけるファーストフードの売り上げアップの試み」「披露宴会場におけるランナーの見える化」であり、専門の研究と異なるこれらのテーマを見るだけでも学生の意欲が伝わってくるのではないだろうか。

それら職場の問題を改善することを通して学生が感じたことは次のとおりである。

➤課題を見つければ、単純作業も面白みが出る。課題を見つけ、解決方法を考え、努力するのは非常に面白い。



合同研修の様子（留学生センター）



合宿で薪を割り火を起こす（郡上市）



合宿：「山の家」改善計画発表



職場改善活動成果発表会

- 仕事と作業の違いがわかった。作業は任されたことだけを完成すればよい、仕事の場合は、自ら問題を考え、日々変化する状況の中で自ら動くこと。
- データでの把握の大切さ。
- 金額削減というデータとして現れたことで自分の努力が報われたと感じやる気が出た。
- お客様への関心の持ち方が変わった。
- 以前よりやりがいや楽しさが出てきた。
- スタッフが同一の対応をするための情報の共有化やマニュアル化の有効性を感じた。
- 人間関係、時間厳守、日本語能力の大切さを実感した。

第1期生の一人が言った「これまで、アルバイトの時間が早く終わらないかと時計ばかり見ていたが、最近は客の商品の選び方を見ている自分がある。」印象的な言葉であった。

5. おわりに

「日本組織なじみ塾」に参加しながら「就職活動支援コース」をも受講した留学生が数人おり、彼らのこれからの活躍が楽しみである。幸い、2011年度も中島記念国際財団留学生地域交流事業の助成金に採択されたため、留学生向けの新しいキャリア教育モデルとして、さらに改善した「日本組織なじみ塾」を実施する予定である。